

学会ニュース

NO.1

新任教員インタビュー

宮川 敏治先生（みやかわ としじ）



関西学院大学大学経済学部卒業

関西学院大学大学院修了

静岡大学専任講師

神戸大学大学院助教授

大阪経済大学准教授・教授

1. ご出身地はどちらですか？出身大学ではどのような勉強をされておりましたか？

生まれてから高校生の頃まで石川県に住んでいました。関西学院大

学経済学部に入学してから税理士試験の勉強をしていましたが、そのうち税のあり方を考える財政学に興味を持ち始め、研究者の道を志すようになりました。

2. 現在、研究されているテーマについて教えてください。また、そのテーマにもったきっかけを教えてください。

現在、私はゲーム理論の中でもとりわけ「交渉ゲーム理論」について研究しています。交渉ゲーム理論とは誰と手を組んで、その利益をどのように分け合うかの駆け引きや戦略を研究するゲーム理論の一分野です。最近では制度設計（メカニズム・デザイン）論のテーマの研究もしています。財政学を学んでいるときに数学（集合論・解析学・測度論など）を勉強していたので、その流れで数学に近いゲーム理論にたどり着きました。

3. 先生にとって経済学で1番重要な主張を1つお願いします。

市場の成果その限界を知ること。そして、市場で解決できない問題を解決する方法として、情報の側面に注目することやゲーム理論（戦略的な側面）を考察することが有用であるということ。

4. なぜ、大学の先生になろうと思ったのですか？もし、大学の先生になっていなかったら何になりたいですか？

自分で何か研究したい、あるいは学問に貢献したいという強い思いから大学の先生になろうと決意しました。他に何もできないので、実際にそれが天職だと思っています。もし大学の先生になっていなかったら、元々子どもや料理が好きだったということもあるので、保育士や料理人をしていたと思います。

5. 甲南大学や学生にどのようなイメージをもっていますか？

おしゃれでスマートなイメージがあります。また、まじめに勉強に取り組んでいるなと感じています。

6. お休みの日は何をされていますか？

子供と遊んでいるか、ご飯を作っています。

7. 今後、何か挑戦してみたいことはありますか？

ダイエットに挑戦したいです。2年ぐらいで10キロ以上太ってしまったので、授業で「ダイエットしたい」と宣言して痩せなかったら文句を言ってくれと言おうかと思っています。

8. 大学の先生のやりがいは何ですか？

研究者としては、論文が海外の査読付き専門誌に掲載されて、評価されることです。

教員としては、プレゼン大会に出場したりして、日々一緒に目標に向かって成長している学生の姿を見ることです。

9. 甲南大学で経済学部をおしえるにあたって意気込みや学生に頑張してほしいことなどのメッセージをお願い致します。

ミクロ経済学、特にゲーム理論を面白いと思って貰えるように頑張りたいです。

大学生は一生懸命になることがあれば何をしてもいいと思いますが、勉強やゼミでのグループ研究を通して、大学で学ぶ楽しさや社会で役立つ力を身につけてほしいです。



[担当] 宇野、宮岸、山本

新任教員インタビュー

小佐野 広先生（おさの ひろし）



京都大学経済学部卒業

大阪大学大学院経済学研究科で博士取得

滋賀大学経済学部、大阪大学大学院国際公共政策研究科、京都大学
経済研究所等で勤務

1. ご出身地はどちらですか？出身大学ではどのような勉強をされて
いましたか？

愛知県の名古屋で生まれました。中学からは親の転勤のため大阪で

育ってきました。京都大学経済学部では、主にミクロ経済学分野の
理論的なものを勉強しました。

2. 現在、研究されているテーマについて教えてください。また、そ
のテーマにもったきっかけを教えてください。

現在はファイナンスの分野で、現実に近い理論的または計量的な研
究をしています。主にファイナンスの中でも企業の資金調達やコー
ポレートガバナンスです。具体的には、企業の不正な資金の流れを
防ぐにはどうしたらよいかなど研究しています。

このテーマに興味をもった理由は、始めは賃金の変動や雇用変動な
どのマクロ経済に対する労働の経済の影響を研究していましたが、
1990年代に日本がバブル崩壊し、金融機関の不良債権などがでてき
たため、このような問題をどうやって解決していくかということか
ら、企業の不正の問題や銀行の問題を絡めて考えてみようと思った
のがきっかけです。

3. 先生にとって経済学で1番重要な主張を1つお願いします。

アダムスミスの見えざる手、市場経済の原理がありますが、ただそ
れだけではなく環境問題などいろいろな問題が出てきているので市
場でどれだけのことが達成できるか、また市場の失敗をどうやって
正していくのか経済学のおもしろいところだと思います。

4. なぜ、大学の先生になろうと思ったのですか？もし、大学の先生になっていなかったら何になりたいですか？

研究をしていくうちにこの分野がおもしろいと思いやり始めたのと、サラリーマンになりたくなったというのがあります。

もし、大学の先生になっていなければ、入れるかどうかは別として、日本銀行で銀行の監督をやっていたという気がします。

5. 甲南大学や学生にどのようなイメージをもっていますか？

私が、学生のころからずっと甲南大学はスマートというイメージがあります。

6. お休みの日は何をされていますか？

ビデオやテレビをみています。あとはネットでいろいろ検索したりしています。

7. 今後、何か挑戦してみたいことはありますか？

海外は頻繁に行きますが、コロナウイルスがなければ世界一周をしたいと思っています。海外と比べると日本料理がやっぱりおいしいと思います。

8. 大学の先生のやりがいは何ですか？

研究者としては、よい研究をしい論文が書いたことです。教育者としては、自分の教えた学生さんが1人前になって活躍してくれることです。

9. 甲南大学で経済学部をおしえるにあたって意気込みや学生に頑張してほしいことなどのメッセージをお願い致します。

授業をきちんと聞いていただくことは基本で、私語はできるだけさけて集中して聞いて欲しいと思っています。



[担当] 宇野、宮岸、山本